

月刊 アカサス ニュース

第23号 1998(平成10年).4

「アカサス」とは、古代ギリシャ・ローマに由来し、金沢大学の校章にも使われている植物の名称(和名「ハアザミ」)です。

宝町再開発スタート 附属病院病棟新営工事を前に起工式



安全祈願祭で鎌入れをする岡田晃学長
= 3月23日、医学部附属病院で

(関連記事は2ページ)

2,211人の卒業生・修了生が巣立つ 平成9年度(第46回)学位記・修了証書授与式



岡田 晃 学長から学位記を授与される文学部総代の石黒園子さん
= 3月25日、金沢市観光会館で

3月25日、金沢市観光会館(金沢市下本多町)で“卒業式”が行われ、学部1,629人、大学院、専攻科など582人の計2,211人が本学を巣立った。

医療短大では学科最後の“卒業式”



“卒業生代表の辞”を述べる衛生技術学科の浅沼紀子さん
= 3月18日、医学部十全講堂で

“卒業式”関係の写真は裏表紙にも紹介





巻頭言

平成10年度
金沢大学が動き出す



学長 岡田 晃

つい先日、桜が開花した。今日は4月1日... 雪が降った。暖かい日が続いた後だけに、一層寒く感じる。人というものは、“日常”というものに良くも悪しくも順応する。

金沢大学は開学50年に近い。人は、日々をいろいろ考えて過ごしても、無意識のうちに流れても、時の長さには変わりはない。しかし、この人というものの集団が、例えば大学教職員であるならば、それは“大学の質”というものにはっきりと表われるであろう。暖かい日々をのんびりと何気なく過ごしたときには、寒い日には体が震えてかぜをひく。このような時にはこうしよう、あんなったときにはこうしよう...と、日頃考えを巡らしていれば、いざという時にうまく対応ができる。

これから50年先により良い金沢大学があるためには、今からそうする努力と心構えが大切である。私は日頃から、自分が生きてはい

ない時代であっても、自分の大学は将来にわたって立派であってほしいと願っている。そのために、今の若い教職員が中心となって、50年後の金沢大学がより立派となるように、この時代に、目標となる“夢”を描いてほしいのである。

金沢大学は、去る3月23日に宝町地区の再開発を象徴する附属病院病棟新営工事の起工式を行った。そして4月18日には、いよいよ総合移転第一期計画事業の起工式を角間の地で行う。感無量である。平成10年度は、これら二つの工事により、大学が目に見えて大きく変わるであろう。更に50年後のあるべき姿の設計図が完成すれば、これからどう変わればいいのかははっきりして、教職員はいろいろと仕事をしやすくなり、行動を起こしやすくなって、良く変わるであろうと確信するのである。

医学部附属病院病棟新営工事 起工式を行う

医学部附属病院は、診療科間の垣根を越えた診療体制の構築(バリアフリーホスピタル)を目指して、平成10年度から病棟の建替え工事を行うが、これを前に3月23日、起工式を行った。

式では、岡田晃学長、高島力^{つとむ}附属病院長のあいさつに続き、文部省の勝山正嗣^{まさつとく}文教施設部長などの祝辞があり、中西功夫^{つとむ}医学部長の発声で乾杯が行われた。参加した関係者約200名は、宝町キャンパス再開発のスタートを祝して歓談した。



乾杯の音頭をとる中西医学部長
= 3月23日、医学部記念館で





廣瀬龍夫氏に本学初の名誉博士記を授与

3月4日、ハーバード大学医学部の廣瀬龍夫教授に対し、本学で初めてとなる「名誉博士」の称号を授与した。今回は、同教授が本学の国際交流の発展に尽力したこと、そして本学出身者として「金沢大学」の名を国内外に広めたことに対してこの称号が与えられた。

同教授は、この日、岡田晃学長から名誉博士記を受け取った後、約300人の学生並びに教職員を前に、平成9年度金沢大学フォーラム(第3回)で「アメリカにおける大学教育の現状 医学教育を中心に」をテーマとした特別講演を行った。



本学第1号の名誉博士記を受ける廣瀬氏(左)
= 3月4日、医学部十全講堂で



講演する廣瀬氏
= 同右

日本海域研究所

油流出災害を中心テーマに 「日本海域国際フォーラム in 金沢」を開催

昨年1月に発生した日本海重油流出事故を踏まえて、学内外の研究者が油流出災害をテーマに講演や研究発表を行う「日本海域国際フォーラム in 金沢」が3月30日、工学部秀峯会館で行われた。

これは、日本海域研究所(所長・岡田晃学長)が主催したもので、同研究所員と韓国、中国の研究者が講演を行い、午後からは、同研究所運営委員会委員長の石田啓教授(工学部)が座長を務めて、10名の研究者がそれぞれ研究発表を行った。詰め掛けた多くの教職員や学生は熱心に発表に聞き入り、関心の高さがうかがえた。



「ナホトカ号重油流出事故の今後の課題と油防除機器の提案」の研究発表を行う石田教授
= 3月30日、工学部秀峯会館で



華西医科大学(中国)と本学12番目の 大学間交流協定を締結

中国華西医科大学(所在地:四川省成都市, 組織: 6学院, 学生数: 4,773人)と本学との間で, 大学間交流協定を締結することが合意され, がん研究所の村上清史教授が同校を訪問する機会をとらえて, 3月20日, 岡田晃学長が協定書に署名した。



華西医科大学との協定書にサインする岡田学長と関係教職員
= 3月20日, 事務局特別会議室で

「第18回放射性同位元素 研究連絡会」を開催

放射性同位元素委員会とアイソトープ総合センターは, 3月20日, 「第18回放射性同位元素研究連絡会」を開催し, 研究発表が行われた。

また, 研究発表の後, 動力炉・核燃料開発事業団東海事業所の^{なかだけい}中田啓所長が「我が国における原子力利用の現状と課題」をテーマに講演会を行った。



研究発表の様相
= 3月20日, アイソトープ総合センターで

喜びの春 学部合格者は計2,028人

平成10年度の本学入学者選抜試験については, 3月10日に前期日程の合格者1,601人が, 3月21日に後期日程の合格者427人の計2,028人が発表された。今回は, 石川県出身者の割合が低く, 浪人生の割合が高かったのが特徴。



神秘的な面持ちで受験番号を確認する受験生たち
= 3月10日, 大会館前で

退職者に永年勤続表彰と 感謝状を授与

平成9年度末に退職する29名の教職員を対象とした「永年勤続者表彰並びに退職者感謝状授与式」が, 3月23日に行われ, 岡田晃学長から代表者に表彰状が手渡された。また, 式の後には会場を移して懇談会が行われた。



永年勤続者として表彰状を受け取る代表者
= 3月23日, 事務局大会議室で





平成9年度（第55回） 金沢大学科学教育研究室 研究発表会・修了式を行う

3月26日，理学部で，科学教育研究室の研究発表会・修了式が行われた。研究発表会では，石川県教育委員会から推薦された県内高等学校（理科教育担当）の現職教員3名が1年の研究成果を発表。続く修了式では，和田敬四郎研究室長（理学部長）から修了証書が手渡され，「今後の教育研究活動の推進に期待する」との激励の言葉が述べられた。



修了証書を手にする研究生3名と関係者
= 3月26日，理学部長室で

3月の研修スナップ

石川県地区国立学校教室系技術職員研修

期 日：3月16日・17日
受講者：石川県地区の国立学校に勤務する教室系技術職員 22名
場 所：事務局大会議室及び辰口共同研修センター



中村健一氏（中村留精密工業（株）代表取締役社長）を講師に迎えての講義
= 3月16日，事務局大会議室で

本学へのお客さま(3月)



いしかわ国際協力研究機構ラトナ・ラナ所長（左から2人目）
= 3月2日，学長室で



バッファロー大学（米国）ロバート・マッケンナ・ストロー
ピンガー助教授，ムラリ・ラマナサン助教授（左から2人目，
3人目）
= 3月13日，学長室で



ロンドン大学（英国）デイビット・アンソニー・ブラウン教
授（右）
= 3月26日，学長室で



「わたしが、おひめさまよ…」 附属養護学校で“ひなまつり”

3月3日の桃の節句に、教育学部附属養護学校の小学部で「ひなまつり」が行われた。この日のために児童たちは、先生の力を借りながら手作りの衣装や金屏風などを準備した。待ちに待った行事だけに、みんな当日は元気いっぱいに登校し、「うれしいひなまつり」の歌を歌ったり、自分たちがひな人形にふんするなど、楽しい1日を過ごした。



やったー。豪華な3段飾りの出来上がり
= 3月3日，教育学部附属養護学校和室で

留学生センター 日本語研修コース修了式を行う

留学生センターは、3月6日、昨年10月から日本語研修コースで学んだ外国人留学生8名(本学4名、福井大学4名)に修了証書を交付した。留学生らは6か月間、毎日毎日、日本語の研修のみを受けてきたため、その成長ぶりは目覚ましく、どの留学生も自信あふれる表情で修了証書を手にした。



修了証書を受け取る留学生
= 3月6日，大学教育開放センター講義室で



50 金沢大学50年の歩み 50年史編纂室収集資料から (その3) 開学10周年記念行事 昭和30年代前半

本学の開学10周年を祝う記念行事が昭和34年5月28日の前夜祭を皮切りに、記念式典を中心として31日まで華々しく挙行された。

記念式典は、29日の午前9時からスポーツセンター(城内体育館)において、来賓、職員、学生など多数が出席して行われ、戸田正三初代学長の式辞、来賓の田谷充実^{しゅうじつ}石川県知事、土井登金沢市長の祝辞、続いて開学10周年を記念して制定された室生犀星^{しげいせい}作詞、信時潔^{のぶときよし}作曲による「金沢大学校歌」の披露があり、盛大に式典を終えた。

30日には、前東京天文台長(東京大学名誉教授)萩原雄祐氏による「宇宙の進化」と題する記念特別講演会が行われ、約500人の聴衆が宇宙の神秘に耳を傾けた。また同日、「金沢大学10年史」の刊行、「記念植樹」なども行われた。

このほか、医学展、学部展、演劇、全学運動会、展覧会、県内高校弁論大会など多彩な記念行事が催された。



金沢大学混声合唱団による校歌披露



祝賀会で懇談する戸田学長(左)





新任部局長等の紹介

平成10年4月、以下の方が新しい部局長等に就任した。(敬称略)

顔写真横の記載は、上から氏名
生年月日・任期・所属の順

文学部長  つちや じゅんいち 土屋 純一 昭12.5.2 10.4.1～12.3.31 人間学基礎論講座	経済学部長  みやた みちや 宮田 美智也 昭16.1.30 10.4.1～12.3.31 応用経済学講座	理学部長  ひわたり やすあき 樋渡 保秋 昭15.10.10 10.4.1～12.3.31 計算機実験学講座
医学部附属病院長  わたなべ よあう 渡邊 洋宇 昭9.7.15 10.4.1～12.3.31 医学部 ・外科学第一講座	総合情報処理センター長  いしだ はじめ 石田 啓 昭22.2.4 10.4.1～12.3.31 工学部 ・水工学講座	共同研究センター長  いしだ しんいちろう 石田 眞一郎 昭9.9.30 10.4.1～12.3.31 工学部 ・応用材料講座
留学生センター長  おおし のぶきみ 大橋 信喜美 昭16.3.14 10.4.1～11.3.31 理学部・複雑系物理学講座	学生部長  ひろせ ゆきお 廣瀬 幸雄 昭15.11.30 10.4.1～12.3.31 理学部・計算機実験学講座	

このほかに、附属図書館長に橋本哲哉(任期:10.4.1～12.3.31)、教育学部長に金子勲榮(任期:10.4.1～12.3.31)、法学部長に鴨野幸雄(任期:10.4.1～12.3.31)、保健管理センター所長に高守正治(任期:10.4.1～11.3.31)、外国語教育研究センター長に大瀧敏夫(任期:10.4.1～12.3.31)の各氏が再任された。



発行所:北國新聞社出版局
(2,000円 税別)

本学職員の著書紹介コーナー

古代と中世のはざまで
時代を撃つ王朝知識人

故 棚橋 光男
(元文学部助教授) 著

1994年12月1日に亡くなった元文学部助教授・棚橋光男氏の遺稿集。故人は、自身の病と限りを知った時に、大学での講義のために心血を注いだ講義用レジュメの出版を思い立った。その意志が遺族に引き継がれ、昨年12月にそれが実現した。同書は、「史料」から最大限の情報を多角的に引き出すことより、古代から中世にかけての日本社会の大きな転換、一つの時代像を明確にしたものである。

本コーナーに著書の掲載を御希望の方は、庶務課研究協力・広報係 電話264-5019まで御連絡ください。

編集後記

4月は、2,774名の入学者を迎え、キャンパス内にもわかに活気づいてきた。新たに本学へこられた方々には、新しい息吹を吹き込んでいただきたいものだ。この時期は、何か新しいことに挑戦してみようという気持ちにさせてくれる。

さて、本紙の編集にかかわり早1年が過ぎた。ここでもう一度新たな気持ちで取り組んでいきたいと思っている。特に今年は情報をいち早くキャッチし、話題豊富な個性あるもの

にしたいと思うので、引き続き御指導・御鞭撻をお願いしたい。なお、本号から表紙レイアウトなど手法を一部変えてみたがいかがだろうか。

間もなくゴールデンウィークを迎え、皆さんにもそれぞれ楽しい予定が立ったと思うが、日頃の仕事を離れ、大いにリフレッシュしたいものだ。

(上梨)



附属小・中学校跡地(広坂) 金沢市へ63億7000万円で売却

附属小・中学校の跡地約2万7000m²については、3月31日、63億7000万円で金沢市に売却された。

金沢市では、美術館を中心とする複合施設を建設する予定である。



旧・広坂キャンパス付近

(平成9年5月撮影)

総合移転第 期計画の 地元住民説明会を開く

本学は、3月2日、新しく始まる総合移転第 期計画事業について、地元の町会長や住民たちにその概要を説明した。



移転の状況について地元住民に説明する企画課長
= 3月2日、事務局大会議室で

祝 卒業 アラカルト

平成9年度“卒業式”では、ユニークな衣装を身に付けた卒業生も多くいた。また、医療短大では、最後の学科卒業生200人が巣立った。

(特別記載のあるもの以外は、3月25日撮影)



地球に寄った卒業生?



医療短大最後の卒業生
(3月18日撮影)



硬派代表です!



後輩からは花束のプレゼントも



先輩にエールを贈る北浜寮生



武者姿で出を待つ卒業生

平成10年4月17日発行
(原則として毎月1回第3週に発行)

〒920-1192 金沢市角間町
金沢大学庶務部庶務課研究協力・広報係

TEL 076-264-5019
FAX 076-234-4010

本紙の内容、その他本学に関する諸情報については、「金沢大学ホームページ 愛称“KUPIS”(キューピース)」

(アドレス = <http://www.kanazawa-u.ac.jp>) でもご覧いただけます。

本紙に関する御意見・御要望などは、電子メール(E-mail) = general1@kenroku.ipc.kanazawa-u.ac.jp でも受け付けています。